

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和7年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市働く婦人の家・由利本荘市本荘福祉センター【鶴舞会館】
所在地	由利本荘市瓦谷地1番地
設置年月日	昭和56年4月1日
施設の設置目的・概要	中小企業に働く勤労家庭の主婦の保護と福祉の増進 市民の学習研修等によるその生活の向上と社会福祉の増進
建物・設備の概要	構造 鉄筋コンクリート造 地上3階 延床面積 2,717.05 平方メートル

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	社会福祉法人由利本荘市社会福祉協議会	所管課	福祉支援課
指定期間	令和4年4月1日 から 令和8年3月31日 まで		
指定管理業務の内容	施設の運営、施設の維持管理、個人情報保護、利用料金の管理		
指定管理料	10,168,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	設置目的を果たすため、広く市民に開放し、平等な利用促進に努める。		利用拒否 件数なし	A
サービスの向上	窓口に職員が常駐し、いつでも利用者に対応できる。料金表を利用者の見易いところに掲示する。		指標のとおり 対応済	A
管理経費の向上	管理経費の縮減に向けた取り組みを行い、経費の縮減が利用サービスの低下を招かないようにする。		指標のとおり 対応済	A
適正な管理運営	定期的に点検日を設け、施設設備・備品等の安全を確認し、利用者の事故を防止する。避難訓練を実施する。	点検日月1回、 避難訓練2回	目標のとおり 実施済	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	B	B
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和7年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市 五峰苑（広場、東光館、市民農園、駐車場）
所在地	由利本荘市赤田字上田表95番地
設置年月日	平成8年4月1日
施設の設置目的・概要	地域の山村の歴史、文化等の保存伝承、市民の山村の歴史・文化、市民農園での農作物の栽培等各種資源とのふれあい、教養及び健全なレクリエーションの場を確保し、同時に山村住民の連係感醸成及びゆとりある生活を培うことを目的に設置された。
建物・設備の概要	伝統文化等保存伝習施設「東光館」ほか

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	地縁団体 赤田町内会	所管課	農業振興課
指定期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
指定管理業務の内容	施設の管理及び運営		
指定管理料	6,008,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	地域及び各種団体の会合や、地域交流、歴史文化の保存伝習の場として住民に提供する。	－	－	A
サービスの向上	施設の安全確保を行い、利用者へのサービス向上を図る。	－	－	A
管理経費の向上	サービスの提供が不十分なものにならないよう留意しながら、経費削減を徹底する。	－	－	A
適正な管理運営	地域交流、歴文化の保存伝習の場の提供と総合案内の場として運営向上を図る。	－	－	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A

	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	B	B
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の 維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の 適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報 適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

利用者に対し、十分なサービスをすることができたと思われる

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和7年度)

1 施設の概要

施設名称	鶴舞温泉および本荘公園休憩施設
所在地	由利本荘市西小人町23-1
設置年月日	平成6年11月2日
施設の設置目的・概要	温泉を活用した休養の場を提供し、住民の健康の増進および潤いのある市民生活に資するとともに、本荘公園への来訪者の利便を図り、観光客の誘致を促進し、地域活性化を図る。
建物・設備の概要	(休憩棟) 963.240㎡ 休憩個室8室、エレベーター、身障者トイレ、湯沸室、売店コーナー (温泉棟) 1101.913㎡ フロント、事務室、ヘルスラウンジ、食堂、中広間、大浴場、サウナ、気泡風呂、ジェット装置、うたせ湯、水風呂、露天風呂、脱衣サロン

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	(株)秋田東北ダイケン	所管課	観光振興課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
指定管理業務の内容	(1) 鶴舞温泉の利用申請の受付及び利用許可等に関すること (2) 鶴舞温泉施設使用料徴収事務に関すること (3) 施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること (4) その他日常業務 (5) 施設の維持、管理及び修繕（大規模な修繕を除く） (6) 備品等の維持、管理及び修理（大規模な購入及び修理は除く） (7) その他施設の管理に関すること 業務の報告		
指定管理料	27,850,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	回数券の販売を行い入浴者増加・リピーターの確保に努めております。	100%	100%	A
サービスの向上	入浴ポイントカードや各種優待サービス、県立大生の入浴料金半額、大広間を17時までの無料開放等を実施しております。	100%	100%	A
管理経費の向上	スタッフ一同経費削減に努めております。特に光熱費の削減に力を入れております。	100%	100%	B
適正な管理運営	ホームページを開設し、より多くの利用者に認知いただくよう努力しております。	100%	100%	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	B
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	B	B
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	B
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式 5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和 7 年度)

1 施設の概要

施設名称	石脇コミュニティセンター・温泉休養施設ふれあい交流施設
所在地	由利本荘市石脇字田尻 3 0 番地 1 2
設置年月日	平成 1 8 年 4 月 1 日
施設の設置目的・概要	温泉を活用した休養の場を提供し、住民の健康の増進および潤いのある市民生活に資するとともに、地域活性化を図る。
建物・設備の概要	大浴場、脱衣室、サウナ (各男女)、集会室、研修室 (5 室)、調理実習室、事務室

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	(株)秋田東北ダイケン	所管課	観光振興課
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 1 1 年 3 月 3 1 日		
指定管理業務の内容	(1) ぱいんすば新山の利用申請の受付及び利用許可等に関すること (2) ぱいんすば新山施設使用料徴収事務に関すること (3) 施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること (4) その他日常業務 (5) 施設の維持、管理及び修繕 (大規模な修繕を除く) (6) 備品等の維持、管理及び修理 (大規模な購入及び修理は除く) (7) その他施設の管理に関すること 業務の報告		
指定管理料	2 6, 1 4 6, 0 0 0 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	スタンプカードの活用によって入湯者増加に努めております。	100%	100%	A
サービスの向上	野菜を税込 100 円で販売をしており、惣菜もお買い求めしやすい価格で販売をしております。	100%	100%	A
管理経費の向上	スタッフ一同経費節減に努めております。特に空調の温度管理に力を入れております。	100%	100%	A
適正な管理運営	ホームページに月に 1,2 度お得情報を開示して認知いただくよう努力しております。	100%	100%	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和7年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市文化交流館
所在地	由利本荘市東町15番地
設置年月日	平成23年12月19日
施設の設置目的・概要	文化芸術の振興、市民交流の活性化、生涯学習・教育関連事業の推進
建物・設備の概要	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨、地上3階、地下1階

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	(一社)カダーレ文化芸術振興会	所管課	文化振興課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
指定管理業務の内容	施設の維持管理、施設の運営、文化芸術振興事業の実施、その他		
指定管理料	193,058,840円/年		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	理由ない施設の利用拒否、不当扱いを行わない	利用申請全件	A	A
サービスの向上	来館・来場者アンケートを実施し、意見・要望へ積極的な対応にあたる	要望への適時回答	A	A
管理経費の向上	施設の劣化予測に基づく小破修繕の実施	適時	A	A
適正な管理運営	地元企業や委託先との連携による効果的な管理運営の実施	適宜	A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	A	A
平等使用	A	A
施設効用の発揮	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	B
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

施設修繕への対応の仕方に一部課題がある。指定管理者は市と連携をとりながら主体的に対応する必要がある。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式 5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和 7 年度)

1 施設の概要

施設名称	本荘公園大手門温水プール「遊泳館」
所在地	由利本荘市尾崎 23 番地
設置年月日	
施設の設置目的・概要	
建物・設備の概要	25m プール、幼児プール、歩行用プール、ジャグジー

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社サンアメニティ	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日		
指定管理業務の内容	プールの運営管理		
指定管理料	52,539,600 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性・明性		A	A
サービスの向上	安全性・利用者の公平性、職員の対応の公平性等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の遵守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等) がとられているか	B	B
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

施設の老朽化が進み様々な修繕が必要。光熱水費の値上げも課題。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式 5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和 7 年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘総合防災公園ナイスアリーナ
所在地	秋田県由利本荘市石脇田尻野 18 番地
設置年月日	平成 30 年 7 月
施設の設置目的・概要	本施設は、災害に強く、市民の暮らしを守る防災拠点を担うとともに、スポーツ及びレクリエーションの普及振興並びに健康づくり、文化の向上を図り、これらの取り組みを通じて地域コミュニケーションを形成し、地域活性化に寄与することを目的として設置する。
建物・設備の概要	敷地面積：96,800 ㎡ アリーナ棟：16,966 ㎡ 屋根付きグラウンド：1,613 ㎡ 駐車場：1,000 台

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	ミズノ・ 由利本荘市 スポーツ協会グループ	所管課	スポーツ振興課
指定期間	2022 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日		
指定管理業務の内容	スポーツ施設の管理運営		
指定管理料	135,812,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	公共施設の役割と責務を踏まえ市民の平等な利用を徹底 ① わかりやすい・伝わりやすい情報の提供 ② 誰もが利用できる環境の整備 ③ 全ての利用者に丁寧な接客サービスの提供 ④ 誰もが安全かつ快適で利用しやすい環境の提供 ⑤ 多世代の誰もが参加できるプログラムの提供	令和 7 年目標利用者 数：171,079 人	利用者数 実績 209,604 人	A
サービスの向上	・多角的に収集した利用者の声を即時に反映し満足度を向上 ・課題の洗い出しを行い、継続して実施している施策に新たな施策を加えさらなる向上を目指します	指定管理期間最終年 度目標稼働率屋根付 きグラウンド→58% 柔道場・剣道場→ 柔道場 40% 剣道場 30%	令和 7 年度 稼働率 屋根付き グラウン ド→84.3% 柔道場→ 32.4% 剣道場→ 39.8%	A

管理経費の向上	管理経費の削減策として以下に取り組んでいます ・軽微な修繕の内製化を促進 ・待機電力の削減 ・多能化社員の育成による業務効率化	※収支計画書参照	収支報告書 記載	A
適正な管理運営	・個人情報漏洩防止策の徹底 ・個人情報保護徹底の為の教育研修	個人情報保護条例をはじめとする関係法令など、情報漏洩を未然に防ぐためのスタッフ研修教育を計画し実施	e-ラーニングを使用し、研修を実施	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等) がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A

	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報 適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A A

(4) 特記事項

・施設の運営については概ね良好であり、利用者数も目標を上回る実績を達成している。 ・一部設備については開設から一定の年数が経過し、経年劣化が見られるため、今後の計画的な修繕・更新を視野に入れた維持管理が求められる。特に防災拠点としての機能を十分に発揮できるよう、非常設備や避難経路等の点検・改修を継続的に実施していく必要がある。 ・今後も地域との連携を強化しつつ、災害時にも安心して利用できる環境づくりと日常的なサービス向上の両立を図る。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和7年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市ポートプラザ「アクアパル」
所在地	由利本荘市北裏地54
設置年月日	平成8年4月21日
施設の設置目的・概要	教育・文化施設（河川利用型総合レクリエーション施設）
建物・設備の概要	アトリウム、艇庫、水と川のミュージアム、多目的ホール、フィットネジウム、セミナー室、等

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	伊藤 弥市郎	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和4年4月1日から令和8年3月31日		
指定管理業務の内容	条例で定める基本的事項、管理の基準、業務の範囲		
指定管理料	36,257,000円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性・透明性		A	A
サービスの向上	安全性・利用者の公平性、職員の対応の 公平性等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の遵守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員 で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇 したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がと られているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

施設の大規模改修が必要 ※施設の老朽化により、突発的な対応が非常に多く通常業務の支障となることが多い。 （雨漏り、配管漏水、冷温水発生器の操作盤異常、温水ボイラーの燃焼異常）
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(1)

1. 市民の平等使用の確保【A】

利用者の要望を柔軟に対応し予約受付を公平性・透明性の向上を目指している。

市条例遵守、市予約システムで早い予約順を守り、公開している。

2. サービスの向上（安全性・利用者の公平性）【A】

熱中症対策として熱中症情報を掲示し注意喚起を行い安全性の向上を目指している。

運営委委員会を開催して、アンケート調査をもとにサービス向上を目指している。

3. 管理経費の向上【A】

冷温水機発生器等の運転管理・調整を行い費用の効率化を目指している。

水道メーター口径を小口径に交換し費用削減を実現している。

経費は、つど伝票発行して経理システムに入力して管理している。

4. 適正な管理運営【A】

管理業務仕様書に基づいて管理している。

仕様書の内容を職員で共有し管理している。

(2)

1. 設置目的・役割【A】

市民の教育・学術、及び文化の向上並びに健全なスポーツ振興を基本方針とし全職員で共有している。

2. 平等使用【A】

市の予約システムを活用し不当に利用を制限したり優遇したりすることがないように努めている。

3. 施設効用の発揮【A】

フィットネスジムの設備更新等により、利用の促進を進めている。

施設の掲示板を活用、掲示コーナーの新設、広報等でイベント告知している。

4. サービスの向上

①自主事業として、自動販売機の設置場所等を工夫し利用向上に努めている。【A】

※またボート教室、カヌー教室を適宜開催し利用向上に努めている。

②フィットネスジムの設備更新等によりサービスの改善・向上に取り組んでいる【A】

※老朽化した設備について、市と相談しながら更新をすすめ軽微なものについては指定管理料の範囲で更新を図っている。

③フィットネスジムの更新時間を利用しやすい時間帯に変更する等、

アンケート調査等を取り入れ利用者の立場に立った対応をに努めている。【A】

5. 管理体制

①事業計画を職員間で情報共有し計画どおりに業務が執行されるよう努めている【A】

②事業計画について適宜職員に周知している。【A】

③消防訓練等を年2回実施し、各職員の役割分担について

緊急時対策・防災対策を確認している。【A】

6. 施設・設備の維持管理状況

①緊急に修繕等が必要なものを市と情報共有している。

市と協議の上、実施しているおり、

今後修繕を必要とする箇所をまとめている。【A】

7. 経営状況の適正化

①経費を経理システムで効率的に管理運営をしている。【A】

②条例に基づいた利用料金設定で適切に運営している。【A】

8. 個人情報適正管理

フィットネスジム会員名簿等は、鍵付きの保管庫を使用し

個人情報を保管している。【A】

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和7年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市石脇体育館
所在地	由利本荘市石脇字弁慶川2
設置年月日	昭和55年3月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	バスケットボール1面、事務室、駐車場

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
指定管理業務の内容	体育館の運営管理		
指定管理料	43,001,240 円 (管理施設一括)		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

アリーナ天井部破損箇所の張替を実施した。 再発防止のため、利用マニュアルの見直し及び周知を徹底する。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和7年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市本荘第二体育館
所在地	由利本荘市桜小路
設置年月日	昭和59年3月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	バスケットボール1面（バレーボール1面）、1階屋内運動場、駐車場

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
指定管理業務の内容	体育館の運営管理		
指定管理料	43,001,240 円（管理施設一括）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

備品の整理整頓が不十分のため、置き場所を明確化をし、他の利用者も気持ちよく施設を利用できるように改善できた。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和7年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市コミュニティ体育館
所在地	由利本荘市美倉町30
設置年月日	平成26年3月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	バスケットボール1面(バレーボール2面)、事務室、駐車場

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
指定管理業務の内容	体育館の運営管理		
指定管理料	43,001,240円(管理施設一括)		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

コールセンターと支払い窓口の1本化により、利用者様へスムーズな対応ができた。 貸出物品の追加により、利用者が経験できる種目を増やすことができた。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和7年度）

1 施設の概要

施設名称	本荘由利総合運動公園陸上競技場
所在地	由利本荘市水林 379
設置年月日	昭和 55 年 5 月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	1 周 400mトラック（全天候型舗装）、サッカー兼用フィールド、駐車場

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日		
指定管理業務の内容	陸上競技場の運営管理		
指定管理料	43,001,240 円（管理施設一括）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

大雨被害でフィールドの芝の状態が悪くなってしまったが、徹底した芝管理で、年度末には回復させることができている。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式 5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和 7 年度)

1 施設の概要

施設名称	本荘由利総合運動公園野球場
所在地	由利本荘市水林 268
設置年月日	昭和 55 年 8 月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	野球場 1 面 (全面人工芝)、電光掲示板、駐車場

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日		
指定管理業務の内容	野球場の運営管理		
指定管理料	43,001,240 円 (管理施設一括)		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等) がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

スコアボード用パソコンのシステム不具合が出てきているが、更新できていない。 試合中に影響が出てくる案件が発生しているので更新したい。 定期的にホームページの更新をすることより、怪我の防止に努めている。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和6年度）

1 施設の概要

施設名称	本荘由利総合運動公園テニスコート
所在地	由利本荘市水林 379
設置年月日	昭和 55 年 7 月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	全天候型 4 面、駐車場

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日		
指定管理業務の内容	テニスコートの運営管理		
指定管理料	43,001,240 円（管理施設一括）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

テニスコートの改修工事期間により、状態が非常によくなった。 手洗場は、改修工事時に配管を損傷させたことにより、使用禁止になった。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和7年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市本荘公園鶴舞球場
所在地	由利本荘市切通地内
設置年月日	昭和59年3月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	ソフトボール2面、野球・サッカー1面、照明施設、駐車場

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
指定管理業務の内容	野球場の運営管理		
指定管理料	43,001,240 円（管理施設一括）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

土の補充により、凹凸を若干改善できた。 A、B コート共にまだ凹凸があるので、土の再投入を検討する。 毎年の課題である雑草は、定期的に除草対策を実施し、対応できた。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和7年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市ソフトボール場
所在地	由利本荘市荒町字荒町下地内
設置年月日	平成18年6月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	ソフトボール2面、管理棟、トイレ棟、駐車場、照明施設

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
指定管理業務の内容	ソフトボール場の運営管理		
指定管理料	43,001,240 円（管理施設一括）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

グラウンド内の除草対策として、定期的にグラウンドのレーキ掛けを行った。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和7年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市尾崎グラウンド
所在地	由利本荘市桜小路 1-5
設置年月日	平成5年3月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	野球場1面、公衆トイレ

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
指定管理業務の内容	グラウンドの運営管理		
指定管理料	43,001,240 円（管理施設一括）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

定期的にグラウンドの草刈りは行っているが、年々雑草の範囲が拡大してきているので対策を考えていきたい。 グラウンドの不陸整正が必要になってきている。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和7年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市田頭河川敷運動公園
所在地	由利本荘市石脇字田頭 207
設置年月日	平成 15 年 5 月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	芝生広場（グラウンドゴルフ・フライングディスク等）、駐車場

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日		
指定管理業務の内容	運動公園の運営管理		
指定管理料	43,001,240 円（管理施設一括）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等) がとられているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

定期的に芝刈りを実施し、プレイしやすい環境を維持できた。 毎年、舗装の損傷があるので、都度対応していきたい。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式 5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和 7 年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市本荘弓道場
所在地	由利本荘市水林 265
設置年月日	平成 17 年 3 月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	近的 12 人立、男女更衣室、用具室、巻藁室、事務室、審判控室、射場、和室、駐車場

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日		
指定管理業務の内容	弓道場の運営管理		
指定管理料	43,001,240 円（管理施設一括）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

施設の老朽化による経年劣化箇所を随時修繕している。 応急処置箇所があるので、協議・対策が必要である。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和7年度）

1 施設の概要

施設名称	芋川桜つつみ河川緑地芋川桜つつみパークゴルフ場
所在地	由利本荘市内黒瀬字新荒町地内
設置年月日	平成18年9月
施設の設置目的・概要	体育施設
建物・設備の概要	18ホール、管理棟（管理棟・休憩所・トイレ・用具庫）

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘体育施設共同事業体	所管課	スポーツ振興課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
指定管理業務の内容	パークゴルフ場の運営管理		
指定管理料	43,001,240円（管理施設一括）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性		A	A
サービスの向上	安全性、利用者の公平性、職員対応等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の順守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

自主事業で予定していた2大会が2回共参加者不足により中止となってしまったため、早めの計画・告知を徹底しなければならない。 暑さ対策として、冷却設備の追加導入の検討が必要。（大型扇風機有り）
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている